



奈良県立医科大学

報 道 資 料

発表日 : 平成28年10月17日
所 属 : 公立大学法人 奈良県立医科大学
担 当 : 研究推進課 西浦、勝本
電 話 : 0744-22-3051 内線 2555、2553

「医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town(MBT)コロキウム」
早稲田大学大隈記念講堂(第1部)・リーガロイヤルホテル東京(第2部)にて開催
ー少子高齢社会のまちづくり、産業創生、地方創生を行う MBT 構想のさらなる推進に向けてー

2012年より、奈良県立医科大学と早稲田大学は「医学を基礎とするまちづくり (MBT : Medicine-Based Town)」に関する研究を進めています。この研究は、わが国が直面する喫緊の社会的課題(少子高齢社会のまちづくり、産業創生、地方創生)に対し、両大学の協働を核に、医師をはじめ医学のスペシャリストの力を産学官の連携に投入し、課題解決を目指すものです。

2015年、早稲田大学は重点領域研究として「医学を基礎とするまちづくり研究所」(所長:後藤春彦 早稲田大学 教授)を設立し、また奈良県立医科大学では2016年4月、産業界と一体となって「一般社団法人MBTコンソーシアム」(理事長:細井裕司 奈良県立医科大学 理事長・学長)を、さらに2016年6月には「MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所」(所長:細井裕司)を設立しました。

このように、研究体制が強化されたことを受けて、急がれる社会的課題の解決に対してMBT構想の一層の推進をはかるべく、この度コロキウムを開催する運びとなりました。皆様のご参加をお待ちしております。

詳細はコロキウムフライヤーをご覧ください。

開催日時 : 2016年11月14日(月)13:30~17:20(第1部) / 18:00~20:00(第2部)

開催場所 : 早稲田大学大隈記念講堂(第1部)・リーガロイヤルホテル東京(第2部)

問い合わせ:

・第1部

早稲田大学 重点領域研究機構 医学を基礎とするまちづくり研究所

電話 : 03-5286-3374(担当:高嶺)

Email : wasedambt@gmail.com

HP : <http://pi-mbt.wix.com/home>

・第2部

奈良県立医科大学 MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所

電話 : 0744-29-8913(担当:遊佐、鉄村)

Email : mbt@naramed-u.ac.jp

HP : <http://www.naramed-u.ac.jp/>

参考 HP(一社)MBT コンソーシアム : <http://mbt.or.jp>

医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town (MBT) コロキウム

2016年11月14日(月) 開催

早稲田大学・奈良医大の共同研究「MBT」のさらなる推進に向けて

2012年より、奈良県立医科大学と早稲田大学は「医学を基礎とするまちづくり (MBT : Medicine-Based Town)」に関する研究を進めています。この研究は、わが国が直面する喫緊の社会的課題(少子高齢社会のまちづくり、産業創生、地方創生)に対し、両大学の協働を核に、産学官の連携による課題解決を目指すものです。2015年、早稲田大学は重点領域研究として「医学を基礎とするまちづくり研究所」(所長:後藤春彦 早稲田大学 教授) を設立し、また奈良県立医科大学では2016年4月、産業界と一体となって「一般社団法人MBTコンソーシアム」(理事長:細井裕司 奈良県立医科大学 理事長・学長)を、さらに2016年6月には「MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所」(所長:細井裕司)を設立しました。このように、研究体制が強化されたことを受けて、急がれる社会的課題の解決に対して一層の研究推進をはかるべく、この度コロキウムを開催する運びとなりました。皆様のご参加をお待ちしております。

早稲田大学研究院フォーラム2016

第1部 「MBT(医学を基礎とするまちづくり)の最先端」

日時 : 2016年11月14日(月) 13:30-17:20 (開場13:00)

会場 : 早稲田大学大隈記念講堂 ※定員 : 1,100名 (無料)

主催 : 早稲田大学

共催 : 奈良県立医科大学、一般社団法人MBTコンソーシアム

プログラム

- ・主催挨拶 鎌田 薫 早稲田大学 総長
- ・共催挨拶 細井裕司 奈良県立医科大学 理事長・学長
- ・基調講演1 荒井正吾 奈良県知事
- ・基調講演2 Patrick Seeb 米国ミネソタ州ロチェスター市 DMC経済開発局 経済開発・地域づくり局長
- ・報告1 後藤春彦 早稲田大学MBT研究所 所長
- ・報告2 一般社団法人 MBTコンソーシアム
- ・紹介 奈良県立医科大学教授陣 ほか

第2部 「新産業創生のための 企業と医師との交流相談会」

日時 : 2016年11月14日(月) 18:00-20:00

会場 : リーガロイヤルホテル東京 ※定員 : 500名 (会費 : 2,000円)
MBTコンソーシアム会員は会費無料

主催 : 奈良県立医科大学、一般社団法人MBTコンソーシアム

共催 : 早稲田大学

プログラム

- ・MBTに関心ある企業とPatrick Seeb氏との意見交換 (定員100名)
 - ・奈良医大学長および教授陣(約70名)と企業の交流相談会
 - *MBTコンソーシアム会員企業によるブース展示あり
- ほか

参加申し込み

下記ホームページから、事前の参加申し込みを受け付けています

<http://pi-mbt.wix.com/home>



■ 後援

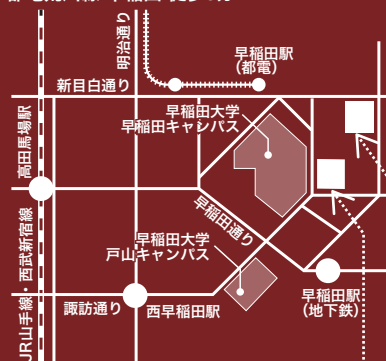
- | | |
|-----------|--------------------|
| 内閣府 | 日本老年医学会 |
| 総務省 | 日本在宅医学会 |
| 文部科学省 | 日本足の外科学会 |
| 厚生労働省 | 日本整形外科学会 |
| 経済産業省 | スポーツ医学会 |
| 国土交通省 | 日本下肢救済・足病学会 |
| 奈良県 | 日本プライマリー・ケア連合学会 |
| 橿原市 | 日本都市センター |
| 新宿区 | 日本建築家協会 |
| 科学技術振興機構 | 日本建築士会連合会 |
| 産業技術総合研究所 | 都市計画協会 |
| NHK (第1部) | 東京建築士会 |
| 日本経済新聞社 | 関西健康・医療創生会議 |
| 関西経済同友会 | 関西文化学術研究都市推進機構 |
| 土木学会 | 都市づくりパブリックデザインセンター |
| 日本建築学会 | 稲門建築会 |
| 日本都市計画学会 | |
| 日本造園学会 | |
| 日本都市学会 | |
| 都市住宅学会 | |

■ 問い合わせ

- 第1部
早稲田大学 重点領域研究機構
医学を基礎とするまちづくり研究所
Email : wasedambt@gmail.com
HP : <http://pi-mbt.wix.com/home>
- 第2部
奈良県立医科大学MBT研究所
電話 : 0744-29-8913 (担当:遊佐、鉄村)
Email : mbt@naramed-u.ac.jp
HP : <http://www.naramed-u.ac.jp/university/kanrenshisetsu/mbt/>
参考HP (一社) MBTコンソーシアム : <http://mbt.or.jp>

■ 両会場へのアクセス

JR山手線/西武新宿線 高田馬場駅 徒歩20分
地下鉄東西線 早稲田駅 徒歩8分
都バス(学バス) 西早稲田 徒歩1分
都電荒川線 早稲田 徒歩3分



第1部 早稲田大学大隈記念講堂
東京都新宿区戸塚町1-104

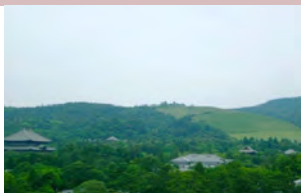
第2部 リーガロイヤルホテル東京
東京都新宿区戸塚町1-104-19

主なプログラム紹介

第1部 基調講演1

奈良県が進める健康長寿・地域包括ケアのまちづくり

高齢化が進む社会における医療のあり方、高齢者が健康で幸せに暮らせる社会のつくり方、あらゆる人が共存・共生できるコミュニティづくりについて、奈良県、市町村、民間が連携して取り組む考え方、実践例を紹介する。



奈良県知事
荒井 正吾



奈良県知事（3期目）、社会保障審議会医療部会委員、社会保障制度改革推進会議専門委員（医療・介護分野）、医療介護総合確保促進会議委員、運輸省自動車交通局長、海上保安庁長官、外務大臣政務官、参議院文教科学委員長ほか歴任。

第1部 基調講演2

全米No.1の Mayo Clinic を核とした医療都市

ミネソタ州DMC経済開発局



DMC局長
Patrick
Seeb

全米No.1と評価される総合医療グループ“Mayo Clinic”を核とした都市開発・産業振興計画がミネソタ州ロチェスター市で進められている。同市中心部にはMayo Clinicの医療施設や患者滞在施設・ホテル等が整備され、それらが空中回廊等で連結されるなど、医療都市が形成されている。

さらに2013年には公民連携で経済開発イニシアチブ「DMC (Destination Medical Center) 経済開発局」が設立され、Mayo Clinicを核とした都市開発・産業振興計画が実行に移され、今後20年で60億ドルを超える投資が想定されている。

本コロキウムでは「DMC経済開発局」経済開発・地域づくり局長のPatrick Seeb氏を招き、DMCプロジェクトの全貌を我が国で初めてご紹介いただく。



DMC完成俯瞰イメージ図、都市空間の随所に医療関連施設が埋め込まれる

メリットケア・ヘルスシステム脳外科および精神科、ヘルスケア・インフォメーション・サービス社社長等をへて、1995年より2015年までセントポール・リバーフロント社社長。川沿い地域の再開発やまちづくりを主導してセントポール市への投資呼び込みにも貢献し、International Waterfront Centerより「ベスト・ウオーターフロント計画賞」を授与されるなど、地域開発プランナーとして高い評価を得る。

2015年9月、ミネソタ州ロチェスター市を中心とした地域においてメイヨークリニックを核に、都市開発と産業振興を推進する「ディスティネーション・メディカル・センター (Destination Medical Center) 経済開発局」の経済開発・地域づくり局長に就任。その手腕に世界が注目している。

第1部 報告

ひとつも元気に、まちも元気に

早稲田大学 医学を基礎とするまちづくり研究所

早稲田大学は重要伝統的建造物群保存地区「今井町」において、奈良医大との協働のもと、医大や健康に関連する機能等の空き家へのインフィルによる「まちなか医療」推進と「まちなみ景観」保全にむけたまちづくりをすすめている。

重要伝統的建造物群保存地区「今井町」のまちなみ ▶



早稲田大学教授
後藤 春彦



早稲田大学教授、早稲田大学医学を基礎とするまちづくり研究所所長。工学博士。専門は都市計画・地域計画。

早稲田大学創造理工学部長、日本都市計画学会会長、世界居住学会副会長、日本生活学会会長ほか歴任。

第2部 交流相談会

医学の光をあてた新産業の創生

奈良県立医科大学 MBT研究所 + MBTコンソーシアム

MBTでは産業に医学の光をあてた新産業の創生を行ってきた。この取組みを広く周知いただくため、本コロキウム第2部では奈良医大企業および教授陣（ほぼ全医学領域から約70名参加予定）と企業との交流相談会を実施する。

今年1月21日橿原市で行われたMBTコンソーシアム研究会設立記念シンポジウム交流相談会の様子
シンポジウムには全国から293社、632名が参加した ▶



奈良県立医科大学
理事・学長
細井 裕司



奈良県立医科大学理事・学長、一般社団法人MBTコンソーシアム理事、奈良県立医科大学MBT研究所所長。医学博士。専門は聴覚医学、住居医学など。日本耳鼻咽喉科学会代議員、日本聴覚医学会理事、日本耳科学会理事、日本聴覚医学会会長、日本小児耳鼻咽喉科学会会長ほか歴任。